

京都市上下水道事業中期経営プラン（2018-2022）

2022（令和4）年度計画



京都市上下水道局
マスコットキャラクター
ホタルの澄都（すみと）くん

《実施状況》



京都市上下水道局
マスコットキャラクター
ホタルのひかりちゃん

令和5年9月

京都市上下水道局

【目次】令和4年度計画の取組項目一覧

3つの視点	9つの方針	30の取組項目	頁
視点① 京の水をみらいへつなぐ	① つくる 水源から蛇口までの水質管理を徹底し、安全・安心な水道水をつくります	① 水源から蛇口までの水質管理の徹底 ② 原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進 ③ 安定的に水道水をつくるための基幹施設の改築更新・耐震化	2 2 2
	② はこぶ 老朽化した管路の更新と耐震化を進め、水道水を安定してお届けし、下水を確実に集めます	① 配水管等の適切な維持管理の推進 ② 安定的に水道水を供給するための配水管の更新・耐震化 ③ 安全・安心な水道水をお届けするための給水サービスの向上 ④ 下水道管路の適切な維持管理の推進 ⑤ 優先度を踏まえた下水道管路の改築更新・耐震化 ⑥ 適切に下水道をお使いいただくための啓発や勧奨	2 3 3 3 3 4
	③ きれいに 下水をきれいに川へ返し、市内河川や下流域の水環境を保全します	① 下水の高度処理や適切な水質管理による処理水質の維持・向上 ② 水環境保全センター施設の再構築 ③ 健全な水環境を保全するための合流式下水道の改善	4 4 4
	④ まもる 市民の皆さまとともに、地震や大雨などの災害から、まちとくらしを守ります	① 「公助」としての災害に強い施設整備や危機管理体制の強化 ② 「自助」の意識啓発や「共助」の推進による災害対応力の強化 ③ 「雨に強いまちづくり」を実現するための浸水対策の推進	4 5 5
	⑤ いどむ 新しい技術を取り入れながら、周辺地域や海外を含めた広い視野で、未来に向けた挑戦を続けます	① 常に発展し続けるための新技術の調査・研究 ② 広域化・広域連携におけるリーダーシップの発揮 ③ 国際協力事業の推進と国際貢献を通じた職員の育成	6 6 6
視点② 京の水でこころをはぐくむ	① こたえる 分かりやすく伝え、しっかりと声を受け止め、市民の皆さまの期待に応え続けます	① お客さま窓口機能の充実とマーケティング機能の強化 ② お客さまの声を反映した新たなサービスの展開 ③ 京の上下水道を未来へ継承する広報・広聴活動の推進	7 7 8
	② ゆたかに 琵琶湖疏水の魅力を高め、地球環境にやさしい事業運営により、まちやこころをゆたかにします	① 琵琶湖疏水の魅力発信等による文化・景観や観光振興への貢献 ② 創エネルギー・省エネルギーによる低炭素社会の実現への貢献 ③ 地球環境にやさしい循環型まちづくりへの貢献	8 9 9
視点③ 京の水をささえつつける	① になう これまで培ってきた技術をしっかりと継承し、京の水の担い手を育て、きずなを強めます	① 将来にわたり水道・下水道を支え続ける企業力の向上 ② 京の水をともに支える市民・事業者の皆さまとの更なる連携	10 10
	② ささえ 50年後、100年後を見据えた経営を行い、将来にわたって京の水を支え続けます	① 施設マネジメントの実践等によるライフサイクルコストの縮減 ② 業務執行体制の見直しや民間活力の導入等による経営の効率化 ③ 将来にわたって事業を持続していくための財務体質の更なる強化 ④ 継続的な経営改善の推進と適正な料金施策の検討	11 11 12 13

視点① 京の水をみらいへつなぐ

方針① つくる

取組			取組内容及び目標	令和4年度実施状況	担当課
①	水源から蛇口までの水質管理の徹底	水質監視の強化	○原水及び配水水質自動監視装置による24時間連続監視の実施	・原水及び配水水質自動監視装置による24時間連続監視を実施	技術監理室水質第1課
		水質検査の徹底	○令和4年度水道水質検査計画に基づく原水及び水道水の水質検査の実施 ○令和5年度水道水質検査計画の策定	・水道水質検査計画に基づき原水及び水道水の水質検査を実施 ・令和5年度水道水質検査計画を策定	技術監理室水質第1課
			○水道GLPの認証に基づく精度の高い水質検査の実施 ○水道GLPの認証に係る更新審査	・水道GLPに基づき、手順書の見直し、精度の高い水質検査を実施 ・水道GLPの更新審査を受検し、更新認定を受けた。	技術監理室水質第1課
		水安全計画の継続的な運用	○水安全計画の運用、見直し	・水安全計画に基づく水質管理を実施、適正に運用 ・水安全計画の見直しを実施	水道部管理課
②	原水水質の変化に対応した最適な浄水処理の推進	最適な浄水処理の推進	○3浄水場(蹴上、松ヶ崎、新山科)において、既存注入設備による高機能な粉末活性炭の注入を実施	・5月から11月にかけて水道原水で発生したかび臭原因物質に対し、高機能粉末活性炭を注入して浄水処理を行った結果、水質基準を遵守し給水することができた。	技術監理室水質第1課 水道部施設課
			○松ヶ崎浄水場における高機能な粉末活性炭注入設備設置に係る実施設計完了(事業年度:2021～2022)	・実施設計完了	水道部管理課
			○蹴上浄水場における高機能な粉末活性炭注入設備設置工事着手(事業年度:2022～2023)	・設計積算を完了し、工事に着手	水道部管理課
		施設の機能を維持するための適切な維持管理	○施設に関する基本情報データベースの運用	・データベース化された台帳をネットワークHDDで共有化し、適切に運用 ・水道施設台帳管理システムを用いて、台帳データを適切に管理	水道部管理課
③	安定的に水道水をつくるための基幹施設の改築更新・耐震化	新山科浄水場導水トンネルの更新・耐震化	○新山科浄水場導水トンネル築造工実施(事業年度:2017～2027年度)	・シールド工事を実施中 ・一部掘進に時間を要したが、その他区間は概ね順調に進捗	水道部施設課
		基幹施設の改築更新・耐震化	○新山科浄水場低区3・4号配水池耐震化工事完了(事業年度:2021～2022年度)	・工事完了	水道部施設課

方針② はこぶ

取組			取組内容及び目標	令和4年度実施状況	担当課
①	配水管等の適切な維持管理の推進	漏水調査や配水管洗浄の継続的な推進	○漏水調査の実施 3,000km	・3,002kmの漏水調査を実施	水道部水道管路課
			○配水管の洗浄作業(「京(みやこ)の水道管おそうじプロジェクト」)の実施	・年間実施予定分(8回)を全て完了	水道部水道管路管理センター

②	安定的に水道水を供給するための配水管の更新・耐震化	配水管の更新・耐震化の推進	○老朽化した配水管の更新・耐震化の実施 58km ・配水管更新・耐震化工事実施 33km ・補助配水管更新・耐震化工事実施 25km ・老朽配水管の解消率 47.0% (2022年度末)	○老朽化した配水管の更新・耐震化工事を実施 57km ・配水管更新・耐震化工事実施 35km ・補助配水管更新・耐震化工事実施 22km ・老朽配水管の解消率 48% (2022年度末)	水道部水道管路課
		地震等災害時における給水のバックアップ機能強化	○低区御池連絡幹線配水管 布設工事実施 (事業年度:2014～2024年度)	・(その6) 工事・・・完了 ・(その7-1) 工事・・・完了 ・(その7-2) 工事・・・実施中 ・全体は予定どおり進捗している。	水道部水道管路課
			○高区花園連絡幹線配水管 布設工事実施 (事業年度:2014～2023年度)	・(その6) 工事・・・実施中 ・全体は予定どおり進捗している。	水道部水道管路課
			○高区岡崎連絡幹線配水管 布設工事実施 (事業年度:2019～2023年度)	・(その1) 工事・・・完了 ・全体は予定どおり進捗している。	水道部水道管路課
			○低区五条連絡幹線配水管布設工事着手 (事業年度:2022～2023年度)	・予定どおり工事を実施中	水道部水道管路課
③	安全・安心な水道水をお届けするための給水サービスの向上	受水槽の適正な維持管理の啓発と直結式給水のPR	○貯水槽水道の設置者への啓発・助言 ・戸別訪問の実施 ・貯水槽の適正な管理の指導及び直結式給水への切替えに関する情報提供の実施	・管理状況調査を実施 (調査にて貯水槽の適正な管理の指導及び直結式給水への切替えに関する情報提供を実施)	水道部水道管路課
			○直結式給水のPR ・局ホームページへの直結式給水に関する情報の掲載 ・貯水槽水道設置者への戸別訪問の実施による直結式給水への切替えに関する情報提供及びPR強化	・直結式給水に関する情報を局HPに掲載 ・貯水槽水道設置者への戸別訪問実施時に、直結式給水への切替えに関する情報を提供	水道部水道管路課
		指定給水装置工事事業者への適切な指導	○新規事業者を対象とした説明会の実施	・新規指定給水装置工事事業者説明会の開催 (年4回)	水道部水道管路課
			○事業者への指導の継続実施 (文書通知等)	・指定給水装置工事事業者の資質保持や技術力向上を図るため、研修等による指導を行うとともに、更新制度を引き続き適切に運用した。	水道部水道管路課
		宅地内における鉛製給水管取替助成金制度の継続	○助成金制度の継続実施	・助成金制度の利用促進のため、局HPへの掲載等を継続して実施	水道部水道管路課
④	下水道管路の適切な維持管理の推進	計画的な維持管理の推進	○下水道管路の計画的な巡視や点検を実施	・市内全域で計画的な巡視点検を実施	下水道部管理課
			○腐食のおそれ大きい箇所点検調査 2.0km	・該当箇所の点検調査 (2.0km) を実施	下水道部管理課
			○修繕履歴等を含めた管路情報のデータベース化	・管路の維持管理の際に収集した修繕情報等を順次管路のデータベースに反映	下水道部管理課
		効果的・効率的な維持管理体制の構築	○下水道管路の維持管理体制の再編 (南部エリア)	・みなみ下水道管路管理センター八条支所を、みなみ下水道管路管理センターへ統合	下水道部管理課
⑤	優先度を踏まえた下水道管路の改築更新・耐震化	計画的な管路内調査及び改築更新・耐震化の推進	○下水道管路の調査及び改築・地震対策の実施 33km	・管路内調査委託実施 ・管路リニューアル工事実施 ・管路地震対策工事実施	下水道部設計課

⑥	適切に下水道をお使いいただくための啓発や勧奨	未水洗家屋の解消に向けた水洗化勧奨の推進	○全戸訪問による水洗化勧奨の実施	・対象となる家屋全戸に対して個別訪問を実施し、普及勧奨を行った。	下水道部管理課
		工場・事業場排水の監視及び指導	○事業場への立入りによる監視及び指導の実施 ・監視及び指導のための立入検査回数1,200回以上	・新型コロナの影響により、立入検査回数は961回と目標を下回った。	下水道部施設課

方針③ きれいにする

取組			取組内容及び目標	令和4年度実施状況	担当課
①	下水の高度処理や適切な水質管理による処理水質の維持・向上	適切な維持管理の実施	○点検整備計画に基づく施設の定期整備の実施	・令和4年度の定期整備を予定どおり実施	下水道部施設課
			○基本情報や修繕履歴等のデータベースの運用開始	・基本情報の収集、修繕及び故障履歴等のデータベース化を実施し、運用を開始した。	下水道部施設課、計画課
		良好な処理水質の維持・向上	○水質管理計画の見直し・継続運用	・目標水質を達成するため、水質管理計画に基づく水質管理を実施	技術監理室水質第2課
			○効果的・効率的な運転管理に関する調査・研究の実施 ・処理コスト削減と水質維持の両立	・水環境保全センターの運転管理や水質分析に関する調査・研究を継続して実施	技術監理室水質第2課 下水道部施設課
②	水環境保全センター施設の再構築	水環境保全センター施設の改築更新・耐震化	○伏見水環境保全センター分流系最初ちんでん池完成 (事業年度:2019～2022年度)	・土木、建築工事を完了 ・機械、電気設備工事は、半導体不足の影響により、一部遅れが生じた。	下水道部下水道建設事務所、計画課
			○鳥羽水環境保全センター消毒施設築造工事実施 (事業年度:2020～2024年度)	・予定どおり工事を実施中	下水道部下水道建設事務所、計画課
		施設規模の適正化に向けた取組の推進	○鳥羽水環境保全センター吉祥院支所污水切替工事実施 (事業年度:2020年度～順次実施)	・鳥羽第1導水きょ接続支線(その1)工事・・・完了	下水道部下水道建設事務所、計画課
③	健全な水環境を保全するための合流式下水道の改善	貯留管による合流式下水道の改善対策	○津知橋幹線の工事完了 (事業年度:2016～2022年度)	・工事に一部遅れが生じ、完成延期となった。	下水道部下水道建設事務所、計画課
		水環境保全センターにおける合流式下水道の改善対策	○鳥羽水環境保全センター雨水滞水池化完了 (事業年度:2020～2022年度)	・工事完了、滞水池の供用開始	下水道部下水道建設事務所、計画課
			○鳥羽水環境保全センター吉祥院支所雨水滞水池化完了 (事業年度:2020～2022年度)	・工事完了、滞水池の供用開始	下水道部下水道建設事務所、計画課

方針④ まもる

取組			取組内容及び目標	令和4年度実施状況	担当課
①	「公助」としての災害に強い施設整備や危機管理体制の強化	事業・防災拠点の整備及び危機管理に係る体制の強化	○整備事業完了による「南北2か所の事業・防災拠点」の実現	・市内南部エリアの事業・防災拠点となる「京都市上下水道局総合庁舎」を開庁	技術監理室監理課
			○BCPや各種マニュアルの点検・修正、防災装備の充実(2拠点化を踏まえた危機管理体制及びBCPや各種マニュアルの確立)	・震災対策計画に基づき、情報調整統括室や災害対策本部の運用訓練を実施 ・防災危機管理研修を実施 ・応急給水マニュアルに基づき、応急給水計画の策定訓練を実施	総務部総務課

		施設整備の強化	○仮設給水槽配備の推進	・仮設給水槽の調達(6基)	総務部総務課
			○マンホールトイレの継続的な整備 ・避難所となる小中学校等への整備を実施	・市内小中学校・公共施設16か所に設置工事を実施	下水道部設計課
②	「自助」の意識啓発や「共助」の推進による災害対応力の強化	危機管理対策の積極的な広報等による市民の防災意識の向上	○防災情報を整理したリーフレット作成及び啓発	・防災リーフレットを区役所・支所、出張所のほか、琵琶湖疏水記念館、お客さま窓口サービスコーナー及び営業所に配架するとともに、地域の組織に対する防災研修等の際に配布 ・防災リーフレットの内容充実	総務部総務課
			○災害用備蓄飲料水を活用した飲料水備蓄の普及啓発	・事業PRリーフレット「京の水だより」や市民しんぶんへの記事掲載や、紙兎ロペとのコラボ動画を配信するなど、飲料水備蓄の重要性を啓発(動画内でふるさと納税についてもPR) ・京都市ふるさと納税の返礼品として、疏水物語の取扱継続	総務部総務課
		防災訓練の充実による連携体制の強化	○京都府下市町や関西自治体等と合同での防災訓練の実施	・地域防災係長向け研修を実施 ・日本水道協会京都府支部合同防災訓練の実施 ・日本水道協会奈良県支部・関西地方支部による合同防災訓練の実施	総務部総務課
			○防災拠点の2拠点化を踏まえた、当局における実践的な防災訓練の実施	・民間タンクローリーを用いた補給訓練及び病院への応急給水訓練の実施 ・給水車等運転サポーター研修の実施 ・「災害等の発生時における燃料等の供給協力に関する協定」に基づき、締結先と当局主要施設の燃料供給箇所の現地確認を実施	総務部総務課
③	「雨に強いまちづくり」を実現するための浸水対策の推進	施設整備による浸水対策の推進(鳥羽第3導水きょをはじめとした施設整備)	○鳥羽第3導水きょ工事実施(事業年度:2020～2027年度)	・予定どおり工事を実施中	下水道部設計課
			○烏丸丸太町幹線工事実施(事業年度:2020～2024年度)	・予定どおり工事を実施中	下水道部設計課
			○伏見水環境保全センター 雨水滞水池築造工事実施(事業年度:2020～2024年度)	・予定どおり工事を実施中	下水道部設計課
		浸水被害軽減に向けた細やかな対策	○雨水貯留施設及び雨水浸透ますの普及促進 ・雨水貯留施設 目標120基 ・雨水浸透ます 目標240基	・市民しんぶんや事業PRリーフレット「京の水だより」への啓発記事の掲載、SNSでの発信、指定業者への周知によってPRを実施 ・区役所等や「下水道の日」パネル展示でパンフレットを配架 ・助成基数 ー雨水浸透施設 122基 ー雨水浸透ます 95基	下水道部管理課
			○関係局区が連携した雨に強いまちづくりの取組の推進 ・地区別や課題に応じた検討会の開催等	・令和4年度京都市「雨に強いまちづくり」推進本部会議を開催 ・令和4年度京都市「雨に強いまちづくり」幹事会を開催 ・京都市「雨に強いまちづくり」地区別検討会(合同報告会)を開催	下水道部管理課、計画課

取組			取組内容及び目標	令和4年度実施状況	担当課
①	常に発展し続けるための新技術の調査・研究	新技術に係る調査・研究の実施	○高画質カメラを活用した管内調査の効率化についての調査研究等	・高画質カメラを活用した管内調査の適用性を確認するなど、効率化な調査手法についての調査研究などを実施	技術監理室監理課 下水道部計画課
			○上下水道管路に係る施設マネジメント検討の実施	・施設マネジメント推進プロジェクトチームにおいて議論を進めるとともに、受託業者と新たな更新需要・費用の予測について具体的な検討を実施	経営戦略室
		外部機関との共同研究の実施	○局HPによる募集、共同研究の実施	・2件の共同研究を実施 (1件は前年度からの継続案件)	技術監理室監理課
		研究成果等の外部への発信	○全国水道研究発表会、全国下水道研究発表会等での研究成果等の発信	発表済件数(技術分野) ・全国水道研究発表会(2件) ・全国下水道研究発表会(8件) ・日本水環境学会年会(1件)	技術監理室監理課
②	広域化・広域連携におけるリーダーシップの発揮	広域化・広域連携の在り方に係る検討	○広域化・広域連携の在り方の検討 ・「水道広域化推進プラン」及び「広域化・共同化計画」の策定に向けた府及び府下市町村との連携・協議の実施	・京都府主催の全体会議・圏域会議に参加し、京都府及び府内自治体と協議を実施 ・今後の広域化・広域連携に係る検討の進め方について、京都府と意見交換を実施	経営戦略室
		府内各事業体との情報交換や技術支援、危機管理体制に係る検討	○情報交換及び共同研修の実施 ・京都府主催の協議会等への参画 ・日水協京都府支部における研修等の実施 ・水道技術研修施設の活用	・今後の広域化・広域連携に係る検討の進め方について、京都府と意見交換を実施 ・京都府主催の初任者研修を実施	総務部総務課、 経営戦略室
			○人的交流の実施	・他自治体の広域化の動向について、各部室と協力しながら、情報収集を実施	経営戦略室 総務部職員課
			○水質検査等の受託(異物試験) ・要望に応じた水質検査の実施	・他都市から2試料について異物試験を受託	技術監理室水質第1課
			○新たな危機管理体制の運用 ・他都市との合同防災訓練の実施	・日本水道協会京都府支部合同防災訓練の実施 ・日本水道協会奈良県支部・関西地方支部による合同防災訓練の実施 ・名古屋市との技術交流会を実施	総務部総務課
		流域関係者とのパートナーシップによる琵琶湖・淀川流域全体の水環境保全	○琵琶湖・淀川流域都市間の協議会等への参画 ・淀川水質汚濁防止連絡協議会や琵琶湖・淀川水質保全機構が実施する調査・研修・報告会への参加及び情報収集の実施 等	・琵琶湖・淀川生物障害等調査小委員会及び合同調査に参加 ・琵琶湖・淀川水質保全機構学術委員会に参加 ・琵琶湖環境科学研究センターとの情報交換会を開催	技術監理室水質第1課 下水道部施設課 下水道部施設課、計画課
③	国際協力事業の推進と国際貢献を通じた職員の育成	国際協力事業の推進	○新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた国際協力事業の推進 ・オンラインでの開催を含めたJICA等を通じた海外からの研修・視察等の受入れ ・JICA等がオンライン等を活用して実施する研修・セミナー等への受講機会の設定	・令和4年度JICA課題別研修「都市上水道維持管理」を実施(オンライン) ・JICA課題別研修「都市上水道維持管理」について、JICA・受託者・4都市(京都市・大阪市・堺市・神戸市)等との関係者会議を実施 ・JICA能力強化研修「水道」コースに水道部から1名受講生を推薦	経営戦略室
		新たな可能性を追求するための調査・研究の推進	○他都市との情報交換や民間事業者との協議等の実施	・上記会議等を通じ、情報交換や協議等を実施	経営戦略室

視点② 京の水でところをはぐくむ

方針① こたえる

取組			取組内容及び目標	令和4年度実施状況	担当課
①	お客さま窓口機能の充実とマーケティング機能の強化	営業所組織の再構築	○応急給水活動や地域の防災訓練への参加内容の充実	・給水車運転・操作研修を実施 ・営業所合同防災訓練を実施 ・各区・市総合防災訓練、ハーネス訓練等への参加	総務部お客さまサービス推進室
		積極的なマーケティングリサーチの推進	○鉛製給水管の解消に向けた周知及び下水道接続確認業務の実施	・日常業務における開栓等の受付時に鉛管が残存していることをお知らせし、担当課からお知らせする旨を伝えるとともに、水道部と連携を図り鉛管解消に取り組んでいる。 ・下水道部と連携を図り下水道接続確認作業に取り組んでいる。	総務部お客さまサービス推進室
			○大口利用者利用状況調査の充実 ○地下水等利用専用水道利用者への訪問	・大口使用者への調査を実施した。 ・水道施設維持負担金制度は、使用者から令和5年度計画水量報告を受理し承認を行った。 ・地下水等利用専用水道利用者への訪問は、新型コロナの状況を考慮して直接訪問は差控えたが、電話による説明やヒアリングを継続して実施した。	総務部お客さまサービス推進室
			○民間マンションの各戸検針・各戸徴収サービスのPR	・民間マンションの各戸検針・各戸徴収サービス制度の周知を継続して実施	総務部お客さまサービス推進室
②	お客さまの声を反映した新たなサービスの展開	インターネット等を活用した新たなサービスの展開	○使用水量等のインターネット閲覧サービスに係るPRの促進	・HPでの継続したバナーの掲載をはじめ、水道開栓時に水道メモを配布するなどして勧奨 ・電話受付時においても、必要に応じお客さまに勧奨	総務部お客さまサービス推進室
			○インターネットによるクレジットカード継続払い申込みサービスのPR	・HPでの継続したバナーの掲載をはじめ、水道開栓時に水道メモを配布するなどして勧奨 ・電話受付時においても、必要に応じお客さまに勧奨	総務部お客さまサービス推進室
			○新たな「積極的に行動するサービス」の実施	・「わくわくすいどうひろば」3施設実施 ・「京の水サロン」3施設実施 ※いずれも上半期はコロナウイルス感染防止の観点から開催を見送った。	総務部お客さまサービス推進室
		IoTの活用等も見据えたサービスの在り方の研究	○水道スマートメーターの導入に伴う効果等の研究及び試験的導入に伴う効果、課題等の検証	・第3期A-Smartプロジェクトに参加 ・水道スマートメータープロジェクト会議(局内)開催 ・企業との協議を実施	総務部お客さまサービス推進室 水道部水道管路課
			○新たなサービスの実施に向けた検討	・「Web口座振替受付サービス」を開始 ・スマホアプリ導入に向けて、関係部署及び業者との協議を進めた。	総務部お客さまサービス推進室

③	京の上下水道を未来へ継承する広報・広聴活動の推進	戦略的な広報活動の推進	○戦略的な広報計画の策定及び取組の充実 ・広報計画の策定(毎年度) ・水道創設110周年を契機とした発信力の強化 ・お風呂の効能や魅力を発信する「京(みやこ)の水おふろキャラバン」の推進 ・子ども向けPRプログラム「わくわく すいどうひろば」の実施 ・知って安心 くらしと水道「京(みやこ)の水サロン」の実施 ・上下水道事業をPRする動画の制作	・広報計画を策定 ・水道創設110周年PR事業として、地下鉄ドラスティックの掲出や、市民しんぶんの特集記事の掲載、交通局との連携事業として「110周年キーワードラリー」を実施 ・「京(みやこ)の水おふろキャラバン」の取組として、京都サンガF.C.との連携し、京都市ホームタウンデーでPR ・「いい風呂の日」、「ピースな風呂の日」に合わせたイベントの実施 ・事業PRリーフレット「京の水だより」でおふろ特集を掲載 ・「わくわく すいどうひろば」及び「京(みやこ)の水サロン」の実施 ・「蹴上のつつじ」、「鳥羽の藤」のPR動画を制作・公開 ・マンガ「テルマエ・ロマエ」とコラボレーションし、動画配信や市民しんぶん、Leaf miniへの掲載、地下鉄駅構内の柱巻き広告の掲出などクロスメディア広報を展開	総務部総務課
		事業運営のためのニーズ把握	○事業への理解促進、水道水や雨水の活用推進に向けた広報活動の展開 ・上下水道施設見学会等の開催 ・お風呂の効能や魅力を発信する「京(みやこ)の水おふろキャラバン」の推進(再掲) ・「水道水・雨水で花いっぱい!」の取組展開、雨水貯留タンク等のPR ・「京の駅ミスト」及び「京のまちなかミスト」の実施 ・ミスト装置貸出の実施 ・「京の水飲みスポット」の市公共施設等への設置促進 ・上下水道事業をPRする動画の制作(再掲)	・鳥羽水環境保全センターにて親子を対象にした見学会を実施 ・イオンモールKYOTOにて「下水道の日」パネル展を開催 ・SNSで「水道水・雨水で花いっぱい!」の取組や「下水道の日」をPR ・市内施設でミスト装置を稼働 ・ミスト装置貸出の実施(12件) ・市民しんぶんへの掲載や、イベントでのパネル掲出で水飲みスポットをPR ・訪日外国人の水飲みスポット利用促進を目的に、京都市観光協会ウェブサイト(京都観光Navi)に記事を掲載	総務部総務課
			○「水に関する意識調査」(毎年度調査)の実施、結果の分析	・令和4年度調査を実施(9月22日～10月15日) ・回収率:45.9%(回答数:1,376通) ・調査結果及び分析・考察を取りまとめ、広報発表	経営戦略室
			○WEBアンケート及び上下水道モニター制度等による広聴活動の展開	・上下水道モニターを委嘱し、琵琶湖疏水見学会、水道施設見学会及び下水道施設見学会を実施 ・WEBアンケート調査を実施	総務部総務課

方針② ゆたかにする

取組		取組内容及び目標	令和4年度実施状況	担当課
①	琵琶湖疏水の魅力発信等による文化・景観や観光振興への貢献	○疏水路の維持管理・整備 ・疏水路の維持管理・整備の実施(緑地維持管理、土砂浚渫、施設の点検整備等)	・疏水路の維持管理・整備の実施(緑地維持管理、土砂浚渫、施設の点検整備)	水道部施設課
		○琵琶湖疏水記念館を活用した情報発信 ・特別展等の実施	・琵琶湖疏水新聞コンテスト優秀作品展を開催 ・特別展「市民が写した琵琶湖疏水」を開催 ・特別展「蹴上浄水場から見た京都市水道の110年」を開催	総務部総務課
		○日本遺産・琵琶湖疏水を活用したフィールドミュージアムの整備	・散歩道「そすいさんぽ」におけるキロポストを設置 ・ウォーキングマップ「そすいさんぽ(鴨川運河コース、疏水分線コース)」を作成 ・琵琶湖疏水記念館ホームページに「目録・デジタルアーカイブ」ページを新設 ・秋季運航及び春季運航に向けた訓練・試乗会を実施 ・平安神宮会館において、俳優・船越英一郎氏と京都高低差崖会崖長の梅林秀行氏の対談を開催 ・俳優・船越英一郎氏を起用したポスター2種類を作成 ・マンガ「テルマエ・ロマエ」とのコラボレーション動画を配信	総務部総務課

			○大津閘門の改修	・一部工事に遅れは生じたが、全体としては順調に改修工事を進めた。	水道部施設課
			○琵琶湖疏水記念館を中核とする文化観光拠点の整備	・琵琶湖疏水記念館コーディネーターを登用 ・記念館及びインクラインで「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭」を開催 ・グッズスペース及びカフェスペース、見学順路サインの新設、琵琶湖疏水情報の展示拡充及びデジタル発信機能集約など館内の快適性向上のための設備改修を実施 ・京都駅ビルと連携し、LINEを使った謎解きイベントや大階段イルミネーション、インフォメーション前広場企画展等を実施	総務部総務課
			○国内外に向けた疏水の魅力PR ・幅広い誘客プロモーションを実施	・びわ湖疏水船音響システム改修を実施 ・スタッフジャンパー、記念写真パネル、乗船ガイドPRカード等を製作し、接遇を改善 ・多言語自動音声案内システムをリリースし、周辺機器を受領 ・疏水ツーリズムメニュー作成・ガイドブックを発行し、記念館、各区役所・支所等で配架 ・企業版ふるさと納税獲得のため、ポータルサイトへの記事掲載や、日経電子版に広告記事掲載を実施	総務部総務課
		琵琶湖疏水通航の プロモーション等	○見学ツアー等の事業実施 ・親子乗船会等の実施	・春季及び秋季運航にて親子乗船(定員計1,026名)を実施	総務部総務課
			○人材育成等の運営支援 ・琵琶湖疏水の魅力を伝えるガイド等の人材育成の実施	・秋季運航及び春季運航に向けた訓練、試乗会を実施	総務部総務課
		京都のまちなみ保全や景観の向上への寄与	○青空美術館等の取組の推進 ・西部1号・2号分流幹線(その2)公共下水道工事における「青空美術館」の実施	・工事仮囲いに掲載中	水道部管理課 下水道建設事務所
②	創エネルギー・省エネルギーによる 低炭素社会の実現への貢献	温室効果ガス排出量削減のための取組の実施	○創エネルギー対策の実施 ・太陽光発電、小水力発電による再生可能エネルギーの利用	・局施設に設置した太陽光発電設備(14か所)及び小水力発電設備(1か所)の適切な管理を行うことにより機能を維持し、再生可能エネルギーを継続的に利用	技術監理室監理課
			○省エネ・高効率機器の採用、使用電力の削減 ・伏見水環境保全センター 汚泥圧送脱臭設備工事 (事業年度:2021～2022年度)	・工事完了	技術監理室監理課 水道部施設課 下水道部下水道建設事務所
			○上下水道局庁舎における照明設備のLED化	・東部営業所・・・LED照明に取替完了 ・水質第1課・・・施工予定範囲完了 ・水質第2課・・・施工予定範囲完了	技術監理室監理課
		環境マネジメントシステム(EMS)の運用による環境負荷の低減と情報発信	○本庁舎、事業所、浄水場及び水環境保全センターにおける環境マネジメントシステムの継続的運用	・4つの環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、各EMSの実施計画に基づいた環境保全に資する取組の実施	技術監理室監理課
			○環境報告書の作成・発行	・環境報告書の発行及び局HPへ公開	技術監理室監理課
③	地球環境にやさしい循環型まちづくりへの貢献	下水汚泥の有効活用推進	○固形燃料の有効活用	・下水汚泥から生成された固形燃料を火力発電所等で、燃料として有効利用	下水道部施設課
			○消化ガスの汚泥焼却炉等への利用	・消化ガスを汚泥焼却炉等の燃料に活用	下水道部施設課
			○脱水汚泥及び焼却灰のセメント原料への利用	・焼却灰をセメント原料に活用	下水道部施設課

視点③ 京の水をささえつづける

方針① になう

取組			取組内容及び目標	令和4年度実施状況	担当課
①	将来にわたり 水道・下水道 を支え続ける 企業力の向上	技術力の向上・ 技術継承の推 進とチャレンジ 精神あふれる 職員の育成	○採用5年目までの職員を対象とした専門技術研修の実施	・専門技術研修を実施(18講座実施)	総務部企業力 向上推進室
			○水道技術研修施設の運用 ・上下水道局職員の技術研修の実施 ・他都市事業体の視察・研修の受入	・上下水道局職員の技術研修を実施 ・他都市事業体向けの研修を実施	水道部管理課
			○下水道技術研修施設の運用	・職員を対象とした技術研修を実施 －開催回数:90回 －受講者数:延べ461名	下水道部設計 課、管理課、 施設課
			○技術研修マネジメントシステムの運用	・e-ラーニングを活用した確認テストやアンケートを実施し、研修効果の評価を実施	総務部企業力 向上推進室
			○「聴く力・受け止める力・伝える力」向上のための研修の実施	・お客さま対応研修を実施	総務部企業力 向上推進室
			○キャリア形成支援、人事交流等の推進 ・市長部局との交流、国・他都市・他団体等への派遣の充実の検討・実施 ・民間企業派遣研修の実施	・市長部局との人事交流を実施 ・国・他団体等への派遣を継続 ・民間企業との派遣研修を実施	総務部企業力 向上推進室、 職員課
			○企業力向上プランの中間見直し	・企業力向上プランの中間見直しを実施	総務部企業力 向上推進室
	職員の意欲・能力を更に発揮 できる活力ある 組織風土の醸 成	○柔軟な働き方の仕組みの検討・構築 ・朝型勤務の実施 ・リモート勤務の実施 ・ペーパーレスの推進	・朝型勤務の実施 ・リモート勤務を継続実施 ・ペーパーレス会議システムの継続運用及びイントラ化完了 ・モバイルワークの試行実施	総務部企業力 向上推進室、 職員課	
		○若手職員の意欲向上を図る取組の実施 ・若手職員・グループ等の交流機会の創出 ・資格取得支援制度の利用促進	・庁内誌で職員グループの活動内容や資格取得支援制度を紹介 ・新規採用職員研修で職員グループの活動内容や資格取得支援制度を紹介 ・民間企業との相互研修や意見交換会の実施	総務部企業力 向上推進室 経営戦略室	
		○コンプライアンスの徹底を図る取組の実施 ・職員のコンプライアンスに対するより一層の意識向上を図るための研修等の実施 ・服務監察、業務監察(内部統制制度を含む)の実施	・課長級職員研修を実施 ・コンプライアンス研修を実施 ・服務監察、業務監察(内部統制制度を含む)を実施	総務部企業力 向上推進室	
②	京の水をとも に支える市民・ 事業者の皆さ まとの更なる 連携	市民・事業者の 皆さまと一体と なった事業推 進	○水道・下水道の御利用等に係る情報発信 ・メーター点検訪問時の広報物(京の水だよりmini)配布等による水道・下水道のPR	・事業PRリーフレット「京の水だよりmini Vol.13～15」を発行し、全戸配布	総務部総務課
			○市民講座の検討・実施	・平安神宮会館において、俳優・船越英一郎氏と京都高低差崖会崖長の梅林秀行氏の対談を開催 ・出前トークにおいて、「琵琶湖疏水の歴史とその魅力」等、計5つのテーマに出講	総務部総務課
			○市民・事業者による体験型研修施設の活用	・すいどう親子体験会を実施 ・教員向け研修を実施 ・インターンシップの受入れ ・配管技能検定を実施	水道部管理課

		○オープンデータの推進 ・ポータルサイト掲載済みデータの形式の見直し	・データセット6件を掲載 ・掲載済みデータセットのデータ更新	総務部総務課
		○公契約基本条例に基づく取組の推進 ・分離分割発注の推進など市内中小企業の受注等の機会の増大	・分離分割発注と市内中小企業への発注の推進 ・対象公契約についての労働関係法令遵守状況報告書の提出の依頼と提出状況の確認、督促 ・社会保険加入対策に係る周知徹底	総務部契約会計課
	関係団体と一体となった技術力の向上・技術継承の推進	○上下水道サービス協会の在り方の検討	・上下水道事業における技術力の向上等を図るための更なる連携のあり方について検討	経営戦略室

方針② ささえる

取組			取組内容及び目標	令和4年度実施状況	担当課
①	施設マネジメントの実践等によるライフサイクルコストの縮減	施設マネジメントの実践	○上下水道管路に係る施設マネジメント検討の実施(再掲)	・施設マネジメント推進プロジェクトチームにおいて議論を進めるとともに、受託業者と新たな更新需要・費用の予測について具体的な検討を実施	経営戦略室 水道部管理課 下水道部計画課
			○庁舎長期修繕計画の運用	・令和4年度予定改修箇所工事完了	技術監理室 監理課
②	業務執行体制の見直しや民間活力の導入等による経営の効率化	業務執行体制の効率化及び活性化	○第6期効率化推進計画に基づく組織・業務の再編、職員定数の削減(△23人)	・第6期効率化推進計画に基づく組織・業務の再編、職員定数の削減(△23人)の実施	総務部職員課
			○民間活力の導入の推進 ・伏見水環境保全センター運転管理業務の委託拡大	・令和4年度から、保守・点検業務に合わせて運転監視業務委託を実施	下水道部施設課
			○本庁機能等の移転及び事業所の集約	・「京都市上下水道局総合庁舎」を開庁 ・市内南部エリアに点在していた水道・下水道の事務所及び本庁舎を集約	総務部職員課
		ICT活用によるコスト縮減	○イントラ系業務システムサーバ仮想化の実施	・仮想化基盤に係る基本設計完了 ・機器調達に係る事業者を決定	総務部総務課
			○業務システムに係る新たな技術導入に向けた調査・研究 ・RPA(※)の試験導入等の実施 ※ロボティック・プロセス・オートメーションの略。 ロボットを使用して定型作業を自動化させる仕組み。 ○新庁舎における無線LAN環境導入	・令和2年9月～試験導入2業務の継続運用 ・令和3年9月～試験導入2業務のRPA化が完了 ・令和4年～事務系所属2業務のRPA化が完了 ・新庁舎(局総合庁舎)における無線LAN環境の稼働を開始、継続運用中	総務部総務課 技術監理室監理課

③	将来にわたって事業を持続していくための財務体質の更なる強化	長期的な財政目標達成に向けた財政基盤の強化	○積立金等のこれまでに確保した自己資金の活用による企業債残高の削減 ・(水道)建設改良積立金18.5億円(プラン目標値)の確保(予算は17.1億円)、企業債残高△23億円の削減 ・(下水道)建設改良積立金29.8億円(プラン目標値)の確保(予算は28.2億円)、企業債残高△87億円の削減	・積立金等のこれまでに確保した自己資金を活用し、企業債残高を削減 (水道)建設改良積立金確保 14.5億円 (対目標△4.0億円) 企業債残高削減 △22億円 (対目標+1億円) (下水)建設改良積立金確保 25.7億円 (対目標△4.1億円) 企業債残高削減 △89億円 (対目標△2億円)	経営戦略室
			○下水道大規模更新等に備えた積立金の確保 ・建設改良積立金29.8億円(プラン目標値)の確保	・下水道大規模更新等に備えた積立金の確保 建設改良積立金確保 25.7億円 (対目標△4.1億円)	経営戦略室
			○企業債償還方法の見直し等による総支払利息の削減(以下、前年度予算比) ・(水道)支払利息△1.7億円の削減 ・(下水道)支払利息△4.2億円の削減	・企業債償還方法の見直しや、企業債残高の削減により、総支払利息を削減(以下、前年度予算比) (水道)支払利息削減 △2.0億円 (対目標△0.3億円) (下水)支払利息削減 △4.5億円 (対目標△0.3億円)	経営戦略室
		保有資産の有効活用をはじめとした増収策の検討・実施	○南北拠点整備に伴う空き施設の売却・貸付の更なる推進	・元資器材・防災センター西側用地について、活用事業者と契約を締結し、引渡しを実施 ・旧上下水道局本庁舎跡地について、活用に向けて既存施設の解体撤去工事を実施 ・その他の各空き施設について、活用に向けて境界確定作業等実施	経営戦略室
			○保有資産の有効活用の検討及び売却・貸付の推進 ・保有資産の有効活用に向けた測量、境界確定等	・各保有資産について、活用に向けて境界確定作業等実施 ・「水道使用水量のお知らせ」裏面広告及びホームページバナー広告を実施	経営戦略室
			○水需要喚起策の実施及び新規施策の検討 ・お風呂の効能や魅力を発信する「京(みやこ)の水おふろキャラバン」の推進(再掲) ・「京の水飲みスポット」の市公共施設等への設置促進(再掲)	・「京(みやこ)の水おふろキャラバン」の取組として、京都サンガF.C.との連携し、京都市ホームタウンデーでPR ・「いい風呂の日」、「ピースな風呂の日」に合わせたイベントの実施 ・事業PRリーフレット「京の水だより」でおふろ特集を掲載 ・市民しんぶんへの掲載や、イベントでのパネル掲出で水飲みスポットをPR ・訪日外国人の水飲みスポット利用促進を目的に、京都市観光協会ウェブサイト(京都観光Nav i)に記事を掲載	総務部総務課

④	継続的な経営改善の推進と適正な料金施策の検討	継続的な経営改善と経営状況の情報発信の推進	○単年度事業計画の策定・実践及び進捗管理	・四半期ごとに進捗状況を確認 ・上半期の実施状況を局HPで公表	経営戦略室
			○経営審議委員会等の意見を踏まえた経営評価制度の充実及び実施	・経営審議委員会の意見を聴取・反映し、令和4年度経営評価(令和3年度事業)を作成・広報発表した。	経営戦略室
			○経営状況に係る情報発信 ・経営審議委員会の意見等を踏まえた経営評価冊子の作成及び公表 ・水道事業・公共下水道事業の一体的な予算・決算情報の公表	・水道事業・公共下水道事業の一体的な予算・決算情報の公表に向け、令和3年度決算概要資料及び令和5年度予算概要を作成し・公表した。 ・経営審議委員会の意見を聴取・反映し、令和4年度経営評価(令和3年度事業)を作成・広報発表した。 ・検針時に配布する事業PRリーフレット「京の水だより」に経営情報を掲載(2回)	経営戦略室
			○次期中期経営プランの策定	・京都市上下水道事業中期経営プラン2023-2027(令和5年度～令和9年度)を策定・公表	経営戦略室
		適正な料金・使用料体系・水準の検討	○水道施設維持負担金制度の運用	・事業者からの問合せに適宜対応するとともに、制度対象先の使用水量等の把握・分析を実施	経営戦略室
			○料金制度に係る課題の抽出及び調査・研究の実施	・料金制度に係る課題の抽出及び調査・研究の実施	経営戦略室